



「受注はようやくピークの70%程度まで戻した」（高島真澄社長）。国内の完成車メーカーは回復途上であり、部品メーカーも苦戦が続く。同社の場合、主力製品である手動変速機（MT）のシンクロナイザリングは国内こそ受注減だが海外で需要が旺盛。

協和合金

「今では中国工場が孝行息子になりつつある」（同）と笑顔だ。

中国工場は2008年度の生産量が前年比20%増で、09年度も伸びている。「受注増に

向けて現地の自動車メーカーにローラー営業をかけた」（同）としており、10年度には国内工場と肩を並べる見込みだ。

ただMT一辺倒では

作した自信作だ。「減速機の研究も指示している」（同）。技術力を生かした新事業に期待を寄せる。

……
▽社長 高島真澄氏
▽所在地 横浜市金沢区鳥浜町17の4、045・772・1331
▽資本金 4億1000万円
▽売上高 約40億円（09年3月期）
▽従業員数 140人
▽設立 47年（昭22）1月

MT部品、中国で拡大



高島 社長

電気自動車（EV）時代に不安を残す。今春、1950年代の名車「ダットサン113型」をレストアした。不足部品を社員自ら製

……